

第18回全国障害者スポーツ大会（福井しあわせ元気大会）

車いすバスケットボール競技実施要領

1 競技規則

平成30年度に適用の全国障害者スポーツ大会競技規則（公益財団法人日本障がい者スポーツ協会制定）によるもののほか、同年度の一般社団法人日本車いすバスケットボール連盟競技規則およびこの要領の定めるところによる。

2 チーム

- (1) チームの構成は、コーチ1名、アシスタント・コーチ1名、マネージャー1名および選手12名以内とする。ここでいうコーチとは、ゲーム中実際にチームを指揮するものを指す。
- (2) コーチ、アシスタント・コーチまたはマネージャーが選手を兼ねる場合は、選手名簿に登録されていなければ選手として出場できない。この場合、選手人数は選手を兼ねるコーチ、アシスタント・コーチ、マネージャーを含めて12名以内とする。
- (3) 男女混合のチーム構成も可とする。（女子プレイヤーがコート上でプレイできるのは2名までとする。）
なお、女子プレイヤーがコートに入った場合、チームの持ち点合計に1名につき-1.5点を付加する。

3 競技方法

- (1) 試合は、トーナメント方式とし、3位決定戦を実施する。また、トーナメント戦以外に、交流戦を実施する。
- (2) トーナメント戦のゲームは、10分のピリオドを4回行うものとし、第1ピリオドと第2ピリオドの間および第3ピリオドと第4ピリオドの間にそれぞれ2分のインタヴァルをおく。第2ピリオドと第3ピリオドの間に10分のハーフ・タイムをおく。
- (3) 交流戦のゲームは、10分のピリオドを2回行うものとし、第1ピリオドと第2ピリオドの間に2分のインタヴァルをおく。第2ピリオドは、一般社団法人日本車いすバスケットボール連盟競技規則の第4ピリオドのルールを適用する。ただし、第2ピリオドの終了時に同点の場合は勝敗を決しない。
- (4) チーム・ベンチ後方の決められた席にトレーナー1名を待機させることができる。トレーナーは参加申込時に登録した者とする。

4 服装等

- (1) 出場選手は、濃色と淡色（白色）の2種類のユニフォーム（シャツ）を用意し、原則として組み合わせ番号の若いチームが淡色（白色）のユニフォーム（シャツ）を着用すること。ただし、第2試合目以降については、両チームの協議により、ユニフォーム（シャツ）の色の濃淡を変更することができる。

- (2) 背番号は0、00および1から99までの番号を使用し、審判とスコアラーにはっきりとわかるようにつけること。

5 試合球

試合球は、公益財団法人日本バスケットボール協会検定7号球（モルテンGL7X）とし、主催者が用意する。

6 組合せ

組合せは、平成30年7月に開催するプログラム編成会議において、主催者が関係者立会いの下に代理抽選の上、決定する。

7 開始式・表彰式

開始式および表彰式は競技会場で行う。

8 出場選手の持ち点、補装具等の確認および競技用車いすの検査

出場選手は、大会当日までに一般社団法人日本車いすバスケットボール連盟発行の選手登録証および持ち点カードにより、補装具等の確認を受けるとともに、競技用車いすの検査を受けること。

9 チーム・ベンチ

チーム・ベンチ等は、組合せ表の番号が若いチームをオフィシャル・テーブルに向かって右側とする。

10 その他

- (1) 平成30年10月6日（土）に監督会議を行う。
なお、監督会議の時間および場所については別途通知する。
- (2) 開始式、表彰式に参加する選手は、原則として、ユニフォーム（シャツ）またはジャージ（いずれかにチームで統一）を着用し、競技用車いすで参加すること。
- (3) 競技場内へは、主催者の許可を受けた者以外は立ち入ることができない。
- (4) 会場内の秩序については、競技役員の指示に従うこと。
- (5) 練習は定められた場所で安全に留意し、主催者の指示に従って行うものとする。
- (6) 荒天時他不測の事態が生じた場合の取扱いは、主催者において別途定める。